

長野県救命救急センター機能評価委員会の昭和伊南総合病院 救命救急センター機能評価結果に対する緊急アピール

長野県救命救急センター機能評価委員会は、去る9月16日昭和伊南総合病院の救命救急センター機能評価結果を長野県知事に提出した。

その内容は、当事者たる伊南行政組合長や昭和伊南総合病院院長には通知がないものの、既に公表され、整形外科や産婦人科の常勤医師がいないことや、全体として常勤医師数が少ないことを理由に、救命救急センターの機能として不十分との評価をしました。

昭和伊南総合病院は、全国的な病院勤務医師の減少の影響をもっとも受け、常勤医師は、大幅に減少していますが、そんな状況の中でも、地域住民の健康と安心の砦として、救急専門医師を始め、勤務医師の懸命な努力により、救命救急医療を担っております。

そうした努力になんら報いることなく一方的な機能評価の結果報告であり、誠に遺憾であります。

地域の皆様の安心を守り、何としても救命救急センターを守るため、地域の皆様を始め、伊南行政組合構成市町村及び構成市町村議会並びに昭和伊南総合病院が一丸となって、全力を尽くして今後の対応してまいりますので、地域の皆様の絶大なるご支援をお願いするものであります。

平成20年9月20日

伊南医療対策検討会

伊南行政組合長	駒ヶ根市長	杉本幸治
	飯島町長	高坂宗昭
	中川村長	曾我逸郎
	宮田村長	清水靖夫
伊南行政組合議会議員	中川村議会議員	前原茂之
	駒ヶ根市議会議員	竹内正寛
	飯島町議会議員	織田信行
	宮田村議会議員	松田英俊
昭和伊南総合病院	院長	長崎正明